

平成21年度事業計画(案)

第4期の活動は、これまでの活動を総括し、それを踏まえてネットワーク活動の更なる活性化を図ることが課題となります。持続可能な社会の実現を標榜するさまざまな活動が行われており、そのなかでグリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワークの存在感を高めることが必要です。ネットワーク機能の強化、財政基盤の強化、グリーン・サステイナブル ケミストリーが広範な化学技術・学術の分野に関係することの理解を進めることが具体的な課題となります。

平成21年度は第4期の初年度として、GSC ネットワークの認知度を高め、GSC 賞、GSC シンポジウムを活性化することを中心に据えた活動を行います。

1. GSC ネットワークの10年先を見据えた「ありたい姿」について、運営委員会にて議論を継続します。
2. GSC ネットワークの委員として、多くの会員団体や首都圏以外の大学、研究所の方々の参画を進めます。GSC 賞グループとシンポジウムグループには化学工学会、高分子学会、日本化学会から委員を出して頂く体制とし、GSC 賞グループには日本化学工業協会から委員を出して頂きます。
3. 第9回 GSC 賞を運営します。7月1日から11月2日を募集期間とし、12月一次選考、平成22年1月二次選考の手順で選考を進めます。募集要項を改定し、多彩な分野からの応募を促進します。
4. 第10回 GSC シンポジウムを開催します。会期は平成22年3月4日、5日。会場は学術総合センター・一橋祈念講堂。前回の GSC シンポジウムで実施した会場アンケートの結果を踏まえ、より多くの人に関心を持つ企画を行います。第11回 GSC シンポジウムについて、開催期日の変更を検討します。
5. GSC ネットワークの認知度を高めるため、日本化学会、高分子学会、化学工学会の年会、討論会等で冠セッションを開催します。高分子学会は9月16日、化学工学会は9月17日、日本化学会は平成22年3月に開催します。
6. ホームページの更なる内容充実を図ります。特に情報のアップデートを迅速に行います。またニュースレターを年4回発行し、より効果的な配信方法を検討します。

以上